

能登半島の復興を支援する共同宣言

令和6年1月1日、能登地方を震源とする最大震度7を観測する地震の発生により、多くの方が被害に遭われました。お亡くなりになられた方々に対し哀悼の意を表するとともに、被災された皆様に心からお見舞いを申し上げます。

今回の地震では、強い揺れに加え、津波や大規模な火災も発生し、多くの人的被害や建物の倒壊などの被害が発生しました。道路網の寸断により孤立集落が発生するなど、半島という地理的特性から生じた課題が浮き彫りになったほか、電気、水道、通信などのライフラインが長期間にわたり停止し、それにより避難生活が長期化するなど、甚大かつ深刻な影響が継続しています。

発災から間もなく4か月となりますが、被災地では、今なお多くの方が避難生活を余儀なくされているなど、その被害の大きさに心を痛めています。

我々九都県市も、職員派遣をはじめ、応援給水活動や医療チームの派遣、被災者への公営住宅の提供等、被災地を支援してきました。生活の再建や産業・文化の再生など、復旧・復興は長い道のりですが、九都県市は、今後も引き続き、能登半島の復興を支援していくことを宣言します。

令和6年4月22日

九都県市首脳会議

座長	千葉県知事	熊谷俊人
	埼玉県知事	大野元裕
	東京都知事	小池百合子
	神奈川県知事	黒岩祐治
	横浜市長	山中竹春
	川崎市長	福田紀彦
	千葉市長	神谷俊一
	さいたま市長	清水勇人
	相模原市長	本村賢太郎